

都市基盤の充実

新規 地域防災計画の改訂 ▶631万円

地域の防災力向上を目指し、最新の知見を反映させた実効性の高い地域防災計画へと改訂します。また概要版を作成し、市民一人一人の防災意識の向上を図るとともに、災害への備えを促進します。



新規 家庭ごみ中継センターの整備 ▶2,594万円

古河クリーンセンターの老朽化に伴い、古河地区のさしま環境管理事務組合加入に向けて、効率的なごみの収集運搬を図るため、古河地区に家庭ごみの中継施設を整備するための調査を行います。



産業の育成

新規 産業ビジョンの策定 ▶978万円

国が策定を進めている「地域未来戦略」を踏まえ、産業政策の基本的な考え方を示す「古河市産業ビジョン」を策定します。商工業・農業・観光分野における地域特性を生かし「強い経済」に向けた方向性を市民や事業者と共有し「産業の育成」を力強く推進することで、地域経済の成長を目指します。



継続 雇用の創出と地域経済の活性化 ▶3億29万円

未来産業用地開発事業について「東山田・谷貝地区」では北側拡張エリアの開発に向けて、民間事業者と協働し事業を進めています。「大堤地区」については、周辺エリアの最適な道路網構築を目指し、国や県との協議を進めながら、民間開発事業者の選定に向けて事業を推進します。



令和8年度

3つの重点的施策と その他の取り組み

詳細は、市ホームページをご覧ください



教育・福祉の充実

継続 こどもの居場所づくりを支援 ▶3,423万円

こどもが複数の居場所を持てるようになることを目的に、令和7年度から5年を期間として民間事業者と協働で取り組みを進めています。今年度は、こどもの居場所マップの作成やこどもの居場所づくりに関心のある人を対象とするセミナーを開催し、こどもが安心できる居場所の充実を目指します。



継続 小中学校給食費の無償化 ▶1億5,653万円

国の補助対象外となる中学校給食費の無償化を本市独自の取り組みとして継続し、子育て世帯の経済的負担軽減を図ります。また食材費の高騰に対応し、バランスの取れた、地域色豊かで魅力ある学校給食を引き続き提供します。



産業労働

活気とにぎわいのあるまちづくり



継続 地元農産物の販路拡大と知名度向上 ▶240万円 -----

県の青果物銘柄産地に「長なす」が、銘柄推進産地には「きゅうり」が新たに指定されました。生産者やJA茨城むつみ等と協力し、高品質で信頼性・安全性の高い地元農産物の販路拡大と知名度向上を図ります。



生活環境

安全で快適なまちづくり



新規 市営住宅の適正管理 ▶7,750万円 -----

市営住宅の住環境を維持するため、計画的な修繕・改修を進めます。今年度は赤松市営住宅の改修工事と磯部第一市営住宅の改修設計を行います。



都市基盤

魅力的で利便性の高いまちづくり



継続 幹線道路の整備 ▶4億9,484万円 -----

新4号国道アクセス道路および桜町上辺見線南町工区の整備を引き続き進めるとともに、下大野線および桜町上辺見線古河工区において用地調査等を実施します。



行財政

まちづくりを支える行政経営



拡充 包括管理活用施設の拡大 ▶4億660万円 -----

庁舎管理における機器保守点検、警備、清掃等で導入してきた包括管理について今年度から学校、保育所、文化施設等へ拡大します。包括管理により効率的で適正な施設管理を進めます。



市民協働

地域 みんなでまちづくり



継続 SDGsの普及促進 ▶100万円 -----

SDGs未来都市推進補助金による民間主体の取り組みを支援します。市民・企業・行政などが連携しながら、地域におけるSDGsの普及促進を図ります。



健康福祉

互いに支え合うまちづくり



継続 不妊治療の支援 ▶300万円 -----

不妊治療を受ける人への経済的支援として、県の不妊治療費助成事業を活用し、助成額を引き上げ、先進医療に対する支援を行います。



新規 RSウイルス母子免疫ワクチン定期接種の開始 ▶2,464万円

生まれてくる赤ちゃんをRSウイルス感染症から守るため、RSウイルス母子免疫ワクチンの定期接種を開始します。



教育文化

人が育ち文化の息づくまちづくり



新規 小中学校教室等のLED照明改修 ▶3億8,354万円 -----

節電効果の向上やカーボンニュートラルの推進を目的として、小中学校の照明設備を3年計画でLED照明へ改修します。



継続 (仮称)古河市新公会堂の整備 ▶129万円 -----

現在、実施方針や管理運営計画、要求水準書を作成しています。多くの人に親しまれる魅力的な施設を目指して引き続き整備を進めます。



